

基本情報



【年 齢】
45歳
【出身地】
東京都 中野区
【転出元】
東京都 練馬区
【前 職】
自営業
【活動時期】
R1.11～ R4.10
(3年目)

協力隊に応募したきっかけ

長瀬町のミッションが「長瀬町の新しい特産品を作る」という食をテーマにしたものだったので、おもしろい経験ができそうだなと思い応募しました。迷ったら自分の心がわくわくする方を選んで生きてきました。40代になり人生で思いきった冒険ができるのもこれが最後かもしれないと思い、まだ見たことのない世界に飛びこんでみようと思いました。

今後の抱負・任期後の目標

私が今やっていることは協力隊だからできたことで、協力隊だから3年間、続けられたことかもしれません。任期が終わった後も引きつづき、これを自力で続けるのはものすごく厳しいことだと感じます。でも、長瀬町で出会えた生産者さんたちやお客さまが楽しんでくださっていること、続けてほしいと言ってくれたことで、事業化して続けていこうと決めました。まずは、民泊もできるリビングカフェという拠点を作り、みんなが楽しく仕事をできる環境を作りたいと思います。

活動内容

●ながとろ町のお土産野菜 Torocolo(トロコロ)

採れたての野菜はものすごく美味しく、畑からは野菜の息吹を感じました。大切に丁寧に野菜を育てる生産者さんたちの姿は、ほんとうにかっこいいんです。私が受けたそんな感動を形にして、サービスにしたいと思い、生産者さんたちと畑の直送便を立ち上げました。



●ながとろ花梨 (カリンカレーペースト)

町の魅力を探すため、着任してとにかく町を歩き回りました。そんな中で心を惹かれたのがカリンの木です。家を建てるときに昔は幸せの象徴として植えたけれど、今は実を落としたままにしているカリンの実をアップサイクルして、スパイスカレーペーストと、カリンホイップドバターを商品化しました。



●ながとろ畑の小昼飯

自家製梅干し、おなめみそ、青柚子胡椒、柿チップや、落んぼグラノーラなどなど…農家さんたちが昔から食べていたという季節ごとにあるおやつや加工品たちを、あらためてブランディングして、野菜と一緒に販売していくことにしました。



連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(instagram) @madoka_kurebayashi
(HP) <https://torocolo.com>